

衛生試験法・注解 2010

編：日本薬学会

発行：金原出版(株)／〒113-8687 東京都文京区湯島 2-31-14／TEL03-3811-7162 (編集)／

B5判／1206頁／価格26,000円(税別)／2010年2月20日発行

「衛生試験法」は日本薬学会が委託されて、100年以上も前から執筆・編集されてきた公衆衛生上必要な各種分析法の公定書ともいえるべきものである。近年は薬学会環境・衛生部会内にある試験法委員会が受け継ぎ、社会的ニーズや科学技術の進歩に伴い、健康や環境に関する測定法や試験法等を5年毎に時代に対応した内容に改訂・更新されてきた。内容も試験法の解説や注解を書き足し、実務者の実用参考本としてまた学生実習用の教科書としても活用できる体裁になり、その中から薬剤師国家試験の問題も多数出題されている。その2010年版が本年2月に刊行された。

2010年版の最大の特徴は、最近食品や環境に関する問題で話題となったノロウイルスやアสบベストなどの分析法をいち早く収載されていることと、従来の一般試験法の充実が図られたことである。例えば、農薬等の一斉分析ではGC/MSを、微量無機成分の一斉分析にICP発光分光分析などの最新の機器分析法を採用し解説している。変異原性試験法も遺伝毒性試験法と表題を変え、エームス試験や染色体異常試験に加えてマウスリンフォーマ試験と小核試験が追加されている。さらに原虫類の試験法も飲料水だけではなく下水や汚水についても作成され、化粧品中の紫外線吸収剤なども新規に作成され、放射性物質試験法の一部も加えられている。逆に利用頻度が少なくなった旧来の試験法は割愛されるなど、取捨選択が行われている。しかし、既存刊と同様に注解には、対象物やその試験手法の解説とともに各種関連資料や文献が豊富に掲載され、試験項目の社会的、学問的背景や基礎知識、測定原理等も詳しく解説されているので、辞典としての実用性も高く、特に薬学系学生の実習参考本としても配慮されている。下に防菌防黴学会に関連する項目を抜粋したが、最新の分析法を網羅した本書は本学会の研究者あるいは食品衛生・環境衛生業務実務者のための座右の書として手元に置き、活用していただきたい1冊です(帝京平成大学 手塚雅勝・兵庫医療大学 西原 力)。

衛生試験法・注解 2010 (防菌防黴関係を抜粋)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1.一般試験法. | 1.3.遺伝毒性試験法 |
| 1.2.微生物試験法 | 1.3.1.微生物を用いる試験 |
| 1.2.1.細菌 | |
| 1.2.2.真菌 | 2.飲食物試験法 |
| 1.2.3.原虫 | 2.1.食品成分試験法 |
| 1.2.4.ウイルス | 2.1.6.ビタミン |

2.2.3.カビ毒

2.3.食品添加物試験法

2.3.1.保存料

2.3.2.防カビ剤

2.3.3.殺菌料

2.3.4.品質保持剤

3. 生活用品試験法

3.2.化粧品試験法

3.2.1.殺菌防腐剤

4.環境試験法

4.1.水質試験法

4.1.1.飲料水試験法

4.1.2.公共浴場水

4.1.3.下水・汚水

4.3.底質試験法

4.3.4.生物試験法

4.3.5.細菌試験法

4.4.空気試験法

4.4.6.微生物試験法
